

No. 861

# 原子力船「むつ」

日本ではじめての原子力船『むつ』——1万トン——が7月14日東京晴海埠頭で一般公開されました。世界で四番目の原子力船『むつ』は建造計画以来60億円の巨費と7年の歳月を投じてようやくスマートな船体を海上に浮かべる事になったのです。

原子力の平和利用から生れた原子船『むつ』。燃料補給なしに2年間、航海を続けることが出来る『むつ』。原子力船『むつ』は、青森県むつ市の専用埠頭で原子力関係の装備を整え、昭和47年に処女航海に出発する予定です。

## アユ釣り

—岐阜—

第18回風流アユ釣り全国大会（中日新聞、中日アユ連、馬瀬川上流漁協組、岐阜県益田郡馬瀬村共催）が11日、小雨のなかで行なわれました。この日会場の馬瀬川には全国から約1,500人のファンが集まり、アユ釣りのメッカにふさわしいにぎわいをみせました。清流にサオを差し出すと、大型のアユがつぎつぎに掛かり、釣天狗の顔も終始、ほころびっぽなし。あざやかな緑の中で無心なアユ掛けが続きました。

## 『金の卵』はアイデアで

—群馬・東京—

町を歩いていると、やたらと目につく従業員募集のはり紙。若い労働力の不足は今やどこの企業でも深刻だ。中卒者が『金の卵』と言われるようになって、まだいくらも経ていないが、ある企業主は「『金の卵』なんてあてにしません。もう手の届かぬ存在です。私はあきらめています。

こんな嘆きをよそに、「『金の卵』なら私にまかせなさい」と豪語する人がいる。群馬県多野郡新町に住む上武大付属第一高校の理事長・三俣貞雄さん（51）だ。

三俣さんは全国でも初めてと言われる産学共同科と銘打った普通科コースを考案した。授業が終ってアルバイトへ……このアルバイトを組織化して、そっくり企業へと言うのである。授業料と宿泊施設を提供するだけで確実に若い労働力が得られるとあっては企業も大助かり。金の卵はアイデアでという訳である。